

# Lumadaの世界展開

2021年3月31日

**徳永 俊昭**

株式会社 日立製作所

執行役専務 サービス&プラットフォームビジネスユニット CEO

日立グローバルデジタルホールディングス社 取締役会長 兼 CEO

日立ヴァンタラ社 取締役会長

# 1. 日立のめざす姿：社会イノベーション事業による成長

社会課題の解決や人々のQoL向上を実現する社会イノベーション事業で  
持続的に成長するグローバルリーダー企業

## 社会課題の解決

都市化、地球温暖化、資源の枯渇  
少子高齢化、インフラ老朽化 など

## 人々のQuality of Lifeの向上

安心・安全・快適な暮らし  
健康長寿、いきいきとした働き方 など

注力する  
価値領域

### 環境

脱炭素と資源  
循環型社会の実現

### レジリエンス

社会と企業の  
持続的な成長

### 安心・安全

個人を尊重、  
安心な社会でQoLを向上

## 社会イノベーション事業



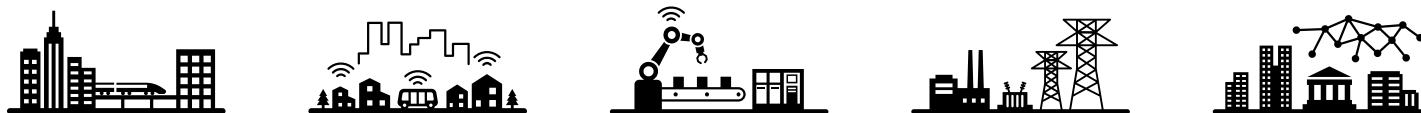
LUMADA

協創、アライアンス

ナレッジ、データ

IT×OT×プロダクト

データドリブンで社会インフラのデジタルトランスフォーメーション(DX)を実現するエンジン  
「協創」と「IT×OT×プロダクト」でお客さまや社会の課題を解決し、  
社会イノベーション事業を成長させるビジネスプラットフォーム



グローバルのお客さま、市場

社会イノベーション事業

モビリティ

ライフ

インダストリー

エネルギー

IT

オートモティブ  
システム



## グローバル市場での社会イノベーション事業の成長

- 世界中のお客さまとの協創を通じて、アジャイル開発で価値をすばやく実装
- IT、OT、プロダクトをソフトウェア・デジタルで繋いだソリューション/サービスをパッケージとして提供



社会課題・企業の経営課題を解決するLumadaプラットフォームに進化

---

Hitachi × GlobalLogic社 ～ Lumadaの世界展開の加速 ～

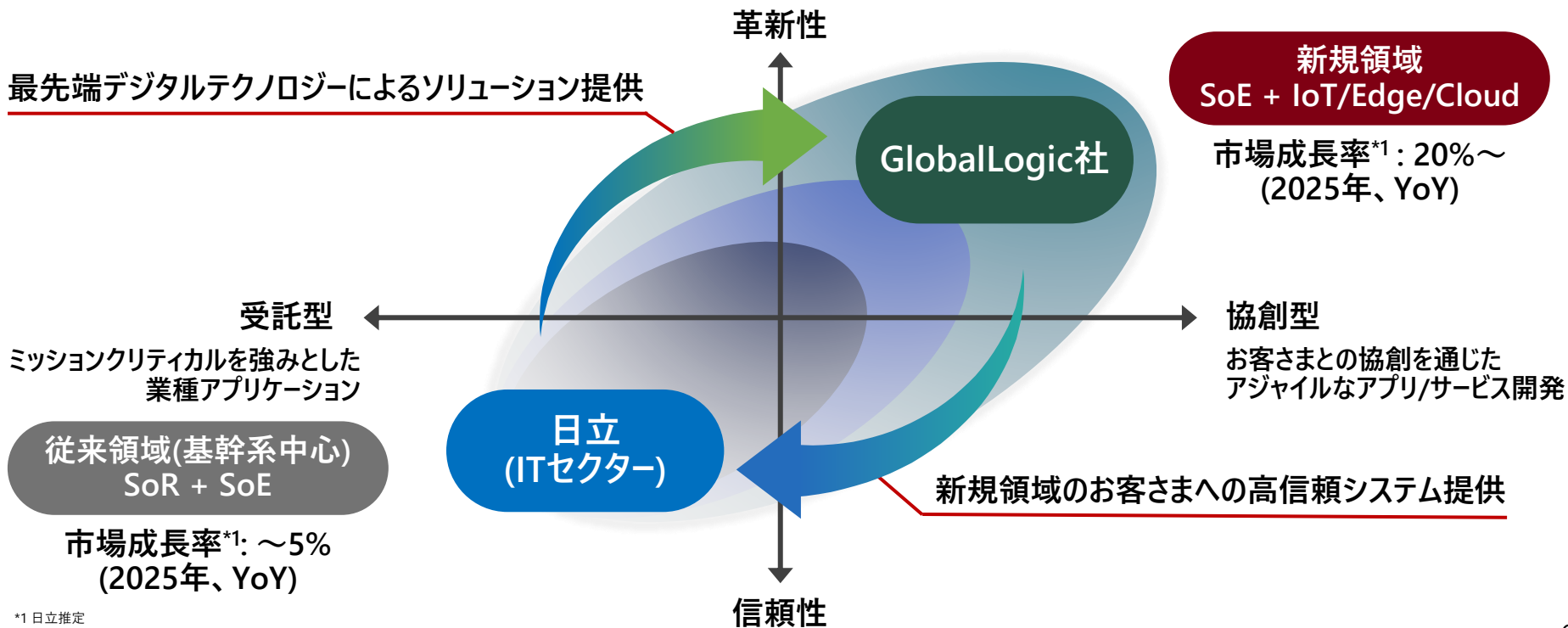
高度なエクスペリエンスデザイン力を有し、  
Chip-to-Cloudでグローバルにお客さまのデジタルトランスフォーメーションを支援

高い収益プロファイルと強力なCAGRを兼ね備えたデジタルエンジニアリング市場のリーダー  
(調整後EBITDA率 23.7%\*) (売上高前期比 +19.3%\*)



# 5. 高成長市場へのポートフォリオ拡大

ミッションクリティカルでの信頼性が重要な受託型から、アジャイル、クラウドベースの協創型へと  
事業ポートフォリオを高成長市場に拡大

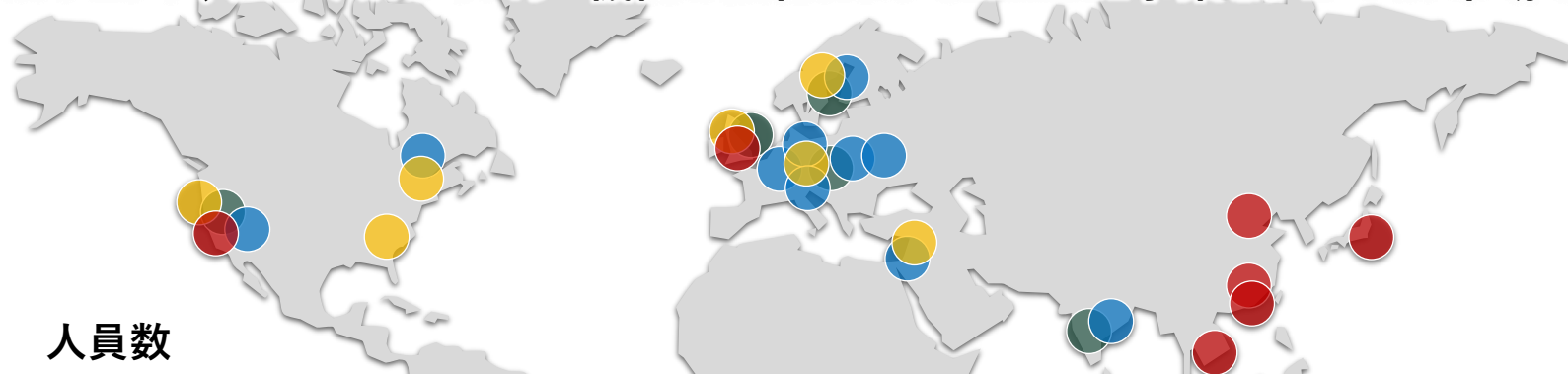


\*1 日立推定  
SoR: Systems of Record, SoE: Systems of Engagement

## 6. 協創型フロント、デリバリー機能の強化

GlobalLogic社の協創拠点を活用してLumadaの世界展開を加速

グローバルフロント、グローバルデリバリー機能の強化によってLumada事業をグローバル市場で拡大





人員数

Vantara 計 1.1万人 

+ GlobalLogic 計 2.0万人 

協創拠点(日立、GlobalLogic社)

-  Lumadaセンター、協創の森 他：16カ所
-  デザインスタジオ：8カ所

営業拠点(GlobalLogic社)

-  リージョナルオフィス：9カ所

デリバリー拠点(GlobalLogic社)

-  エンジニアリングセンター：30カ所



IT、OT、プロダクトをソフトウェア・デジタルで繋ぎ  
世界の社会インフラのデジタルトランスフォーメーションをリードする  
社会イノベーションカンパニーへ



GlobalLogic社をLumadaの成長エンジンに、社会課題・企業の経営課題を解決するプラットフォームに進化

## 8. GlobalLogic社の概要

売上高 (2020年度 見通し)

約 921百万米ドル

前期比 +19.3%

調整後EBITDA率 (2020年度 見通し)

23.7%

2019年度 23.2%

名称

GlobalLogic Inc.

本社所在地

米国 カリフォルニア州 サンノゼ

代表者の役職・氏名

社長 兼 CEO シャシャンク・サマント

事業内容

フルライフサイクルの製品開発サービス、ユーザーエクスペリエンスの設計、プロダクトの設計、コンテンツエンジニアリング、プロダクトの研究、サステイニング・エンジニアリング、プロダクトエンジニアリング、プロダクトのテストと品質保証、およびプロダクトのリプラットフォーム化

設立年月日

2000年9月22日

### 対象企業

**GlobalLogic Inc.\*1**  
(本社：米国カリフォルニア州 サンノゼ)

### ストラクチャー

**現金対価による逆三角合併方式**  
日立グローバルデジタルホールディングス社の完全子会社とする

### 企業価値

**95億米ドル (約 10,260億円)\*2**  
▶ EV/EBITDAマルチプル：2021年 37.4倍、2022年 29.4倍

\*1 スキーム上はGlobalLogic Inc.の持株会社であるGlobalLogic Worldwide Holdings Inc.株式を取得

\*2 株式価値は、約85億米ドル(約9,180億円)で合意し、GlobalLogic社の有利子負債の返済を含む買収総額は、96億米ドル(約10,368億円)を見込んでいます。  
為替前提：108円/ドル

### 買収資金

### 手元資金、銀行借入

### 財務健全性

- 連結B/Sへの影響：

資産合計	11,500億円
のれん	7,100億円
無形資産	3,900億円
	(償却費 320億円/年)
有利子負債	10,300億円
- 財務規律：  
フリー・キャッシュ・フローの積み上げや資産売却等により、数年内にD/Eレシオ0.5倍未満、有利子負債/EBITDA倍率2.0倍未満に戻す方針

2021年3月31日

買収に関する契約締結

2021年7月まで

日立グローバルデジタルホールディングス社  
による完全子会社化(クロージング)

本資料における当社の今後の計画、見通し、戦略等の将来予想に関する記述は、当社が現時点で合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等の結果は見通しと大きく異なることがあります。その要因のうち、主なものは以下の通りです。

- ・COVID-19の流行による社会的・経済的影響の悪化
- ・主要市場における経済状況及び需要の急激な変動
- ・為替相場変動
- ・資金調達環境
- ・株式相場変動
- ・原材料・部品の不足及び価格の変動
- ・長期請負契約等における見積り、コストの変動及び契約の解除
- ・価格競争の激化
- ・人材の確保
- ・新技術を用いた製品の開発、タイムリーな市場投入、低コスト生産を実現する当社及び子会社の能力
- ・製品等の需給の変動
- ・製品等の需給、為替相場及び原材料価格の変動並びに原材料・部品の不足に対応する当社及び子会社の能力
- ・信用供与を行った取引先の財政状態
- ・社会イノベーション事業強化に係る戦略
- ・企業買収、事業の合併及び戦略的提携の実施並びにこれらに関連する費用の発生
- ・事業再構築のための施策の実施
- ・主要市場・事業拠点(特に日本、アジア、米国及び欧州)における政治・社会状況及び貿易規制等各種規制
- ・持分法適用会社への投資に係る損失
- ・コスト構造改革施策の実施
- ・地震・津波等の自然災害、気候変動、感染症の流行及びテロ・紛争等による政治的・社会的混乱
- ・当社、子会社又は持分法適用会社に対する訴訟その他の法的手続
- ・製品やサービスに関する欠陥・瑕疵等
- ・情報システムへの依存及び機密情報の管理
- ・自社の知的財産の保護及び他社の知的財産の利用の確保
- ・退職給付に係る負債の算定における見積り

*Hitachi Social Innovation is*

**POWERING GOOD**

世界を輝かせよう。

**HITACHI**  
Inspire the Next 